

番号	氏名	抱負
001	相川 良人	日本放射線技術学会学術活動の近年の取り組みとして、国際化と論文化の推進が挙げられております。この取り組みに対して、支部または地域で基本的な知識と技術及び研究活動等の啓蒙に取り組みで参りました。今回代議員に立候補させていただき、代議員の責務を負う事が出来ましたら、更に地域に根差した活動と日本放射線技術学会の学術活動を牽引して行く所存です。以上を代議員立候補の抱負とさせていただきますと存じます。
002	相田 雅道	学会の国際化の礎ができはじめましたが、国際化の益々の発展と研究活動の活発化を目的として、引き続き代議員としての役割を担うことができると考えております。また、医療情報部会委員として活動しておりますので、本分野の発展と他の部会との協力強化、地域の学会活動の推進に尽力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
003	青池 寿々子	現在北海道支部の役員として地方部会運営に携わらせていただいております。私自身国際学会への参加経験などを通して今後の国際化の重要性について認識しております。国際化を目指した本学会事業の達成や発展のために、日々英語にふれ合い、知識を高め、研究や教育面の活動を活発に行い、貢献していきたいと考えております。さらにやる気のある若い会員の意見を本部に届ける役割や諸先輩方との橋渡し役になっていきたいと思っております。
004	青山 信和	琉球大学医学部附属病院の青山信和です。沖縄県内の日本放射線技術学会員は非常に少ないのが現状です。この背景には、九州支部に属する他県へ行くのも、春の総会学術大会に参加するのも、すべて飛行機に乗らなければならないという独特の地域性が、学会を遠くしています。大きなことはできませんが、全国と沖縄、九州支部の他県と沖縄を繋ぐ架け橋となって、沖縄県を盛り上げていきたいと考えています。
005	赤澤 博之	公益法人として、会員・非会員を問わず広く社会に有益な情報を提供すること、会員の皆様にはより良いサービスを提供すること、これらが学会として重要な使命と考えております。今回、このような実務を担うべく代議員に立候補いたしました。総務委員として、また財務委員としての経験を活かし、自身の役割を十分に自覚し、学会が永続的に発展するための仕事をしたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。
006	秋田 和彦	放射線治療の分野において高精度治療に対する様々な取り組み、研究が行われていますが、各施設間の放射線治療の質にはばらつきがあるのが現状です。放射線治療の品質管理、照射技術、などの点においてさらなる均てん化を図っていかなければいけないと考えます。また、学会として国際化の重要性のもと、研究発表の英語化や英語論文への取り組みが行われていますが、放射線治療の分野においてもより一層推進していきたいと考えます。
007	浅賀 昭彦	チーム医療の推進や国際化は本学会としても命題であり、学術団体としての取り組みがより一層求められています。会員として医療全体の方向を把握し個々に情報の取得が重要であることは医療スタッフとして当然のことと思います。国際化に向けて海外に情報を発信しながらも、個々のニーズもしっかり見据えながら一人一人の目線に立った学会活動を行いたいと思っております。
008	朝原 正喜	私が所属する中国・四国部会では、技術学会会員の国際的な活動をより推進させるため、平成26年度より国際化推進委員会が組織されました。本部においても、以前より同様の活動が行われていますので、その活動がより活性化するように協力させていただきますとともに、地方部会にもその恩恵が還元するよう努めたいと考えています。
009	東 文雄	私が学会に所属して20年となりますが、これまで学会から多くのことを学ばせて頂きました。これまで学会運営に携わってこられ、魅力ある学会にして頂いた諸先輩方々のお陰であると感謝しております。これからは私自身が学会運営に少しでもご協力させて頂ければと思います。この度、代議員に立候補させて頂きました。微力ではありますが、放射線技術の発展に少しでも関わっていければと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。
010	安達 登志樹	技術学会の活動方針の一つである国際化に向けて、微力ながら協力をしてまいりたいと思っております。